



9月の図書館行事

●ブックスタート

日時：9月2日（火） 午後1時～

場所：鏡野町中央公民館

3、4ヶ月健診を受診されるお子様が対象です。

健診時にブックスタート会場へ来られなかった場合は、図書館でもお渡しできますので、健診日より3年以内にお申し出ください。

新着図書紹介

新しく図書館に入った本を紹介します。

一般

●水平線のぼくら 仁木 英之／著

●お風呂と脳のいい話 茂木 健一郎・山崎 まゆみ／著

●しっとり、ふわふわ小さな焼き菓子 高橋 教子／著

●里山を食いものにしよう 原価0円の暮らし 和田 芳治／著

児童

●てがみぼうやのゆくところ 加藤 晶子／作

●まよなかのぎゅうぎゅうネコ 葦原 かも／作 武田 美穂／絵

●だるまちゃんとやまんめちゃん 加古 里子／作・絵

●かいぶつばなし ハラハラどきどき30話 大泉書店編集部／編

今月のおすすめ本



利休の茶杓
とびきり屋見立て帖4
山本 兼一／著 文芸春秋

50本の茶杓の中に1本だけあるという「ほんまもん」の利休の茶杓。はたしてゆずは目利きできるのか…。全6編を収録した、「ほんなり」系時代小説



今ごはん、昔ごはん
松井 今朝子／著 ポプラ社

生まれは京都・祇園の日本料理屋、江戸の味にも精通する直木賞作家・松井今朝子が、古今東西、おいしく楽しい食のあれこれをつづる。川口澄子のマンガも掲載。



ゆうれい回転ずし
消えた少年のなぞ
佐川 芳枝／作 講談社

地主の杉田さんは、だまされているのではないかとゆうれい回転ずしの大將・一平さんと、営業マンの小学生・潮と綾乃は、30年前の事件で消えたある少年にたどりつく。少年ははたしてどこかで生きているのか…。



ほしをもったひめ
セルビアのむかしばなし
八百板 洋子／文 小沢 さかえ／絵 福音館書店

星のしるしをもったお姫さまがいました。王様は、姫のどこに星があるかを言い当てた者に、国の半分と姫を譲るとお触れを出しますが、失敗した若者たちは羊にええられてしまいます。ある日、羊飼いの若者が城にやって来て…。

読書の扉



秋といえば、読書・スポーツ。皆さんはどちらの秋を満喫しているでしょうか。「将棋」は頭も体力も使う勝負。と言われていいます。対局の合間に棋士が甘味を食べている様子を見たことはないでしょうか？エネルギーを消耗するため、糖分を摂っているんだそうです。「決断力」(羽生 善治／著) 羽生棋士は、そんな将棋界で最強の棋士です。この本は、生活においての決断力に迫られる場面の対処法など、将棋を知らない人でもためになる内容です。将棋のルールは難しいイメージ。児童書ならやさしく学べますよ。「将棋を初めてやる人の本」(将棋をたのしむ会／編) 将棋がテーマの小説もあります。「将棋キッズ!」(川北 亮司／作・岩村 俊哉／絵) 将棋好きの小学生、純也の物語。将棋の雑学も載っています。「盤上に散る」(塩田 武士／著) 亡き母の手紙を見つけた明日香は手紙に出てくる将棋指しの男を捜索することに…。この秋は将棋の本で、知力と体力を上げてみませんか？

～図書館ではカバンをロッカーに入れましょう～

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館時間 10:00～18:00